

株主のみなさまへ

第72期 中間株主通信

2021年6月1日 ▶ 2021年11月30日

CONTENTS

- P.1 トップインタビュー
- P.4 トピックス
- P.5 連結財務データ
- P.6 会社情報／株式情報



ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、感染防止に向け尽力されている医療従事者や関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、当社は2021年11月30日をもって第72期上半期が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年2月

代表取締役社長 金森 武

Q▶ 当第2四半期の業績はいかがでしたか。

A 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化したことから厳しい結果となりました

当第2四半期累計期間においては、想定以上に新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、主要販売先である外食産業では極めて厳しい経営環境が継続しました。

当社グループにおいても厳しい事業運営を強いられ、売上高は261億84百万円(前年同期比5.8%減)、営業損失は2億5百万円(前年同期は営業利益48百万円)、経常損失は1億34百万円(前年同期は経常利益1億41百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失については、投資有価証券評価損等を特別損失に計上したことなどから2億18百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億43百万円)となりました。

Q▶ 各事業の状況について説明をお願いします。

A アフターコロナを見据えた取り組みを進めています

外商 事業

当第2四半期累計期間においては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が各地で発出され、営業時間短縮要請、酒類提供禁止要請などにより休業する飲食店等が増加しました。このような環境のもと、居酒屋、レストラン、ホテルなど外食業態向けの販売不振が響き、売上高は153億85百万円(前年同期比7.6%減)、減収に伴い売上総利益が減少したことから営業損失3億20百万円(前年同期は営業損失2億92百万円)となりました。

厳しい環境が継続するなか、中食、給食、病院向けなど外食業態以外の得意先への営業活動に注力するほか、物流費の抑制など収益改善に向けた取り組みを進めてきま

した。2021年10月以降、感染者数の減少に伴い外食産業を取り巻く環境は回復傾向にあり、外商事業の業績も回復傾向にあります。今後のさらなる収益改善をめざします。

**アマカ
事業**

アマカ事業では、外食事業者向けの販売苦戦や、感染拡大に伴うイベント需要の減少などから、既存店売上が落ち込みました。新規出店については、2021年6月に静岡県内6店舗目となるアマカ静岡清水店（静岡市清水区）を開業しました。ネットショップについては、アイテム拡充などの取り組み効果から前年同期比16.1%増と好調を継続しています。

この結果、売上高は94億47百万円（前年同期比7.7%減）、減収に伴い売上総利益が減少したことから営業利益は5億12百万円（前年同期比36.4%減）となりました。

各店舗では、家庭内消費に適したアイテム拡充やSNSを活用した情報発信など、一般のお客様にもご利用しや

すい店舗運営に取り組んでいます。一般のお客様の来店客数はコロナ前より増加しており、今後も幅広いお客様に支持いただける店舗運営に努め、当事業の成長をめざします。

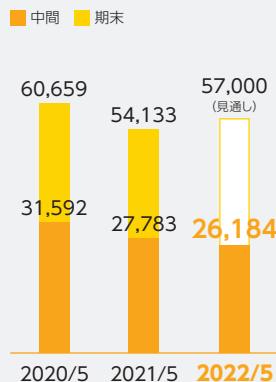
**水産品
事業**

売上高については、食品メーカーや量販店向けなど貝類の国内販売に注力するとともに、国産帆立貝等の輸出販売に取り組み、13億92百万円（前年同期比46.4%増）と伸長しました。営業利益については、増収に伴い売上総利益が増加したことに加え販管費を抑制し、80百万円（前年同期比73百万円増）と大きく改善しました。

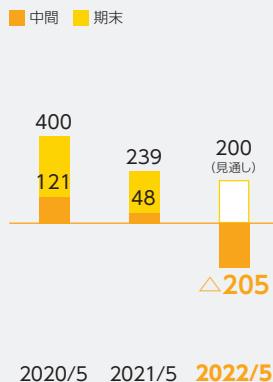
輸出販売については、長年にわたり培った海外生産地との関係性を活用し、国外販売先の開拓を進めています。当社の提供する国産帆立貝等の評価は高く、今後は供給面を一層強化してさらなる拡充を図っていきます。

連結財務ハイライト

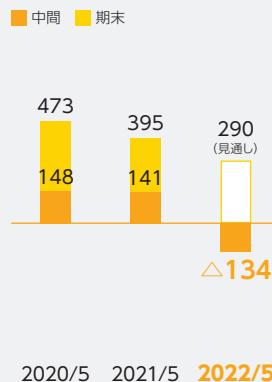
売上高 (百万円)



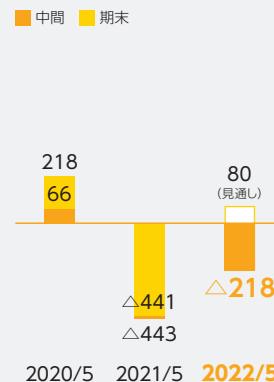
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



**親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益** (百万円)



Q ▶ 通期の見通しについてご説明ください。

A 上期業績を勘案し、通期業績予想を
下方修正しました

通期の業績予想については、第2四半期累計期間の業績を勘案し、下方修正しました。売上高は570億円(前期比5.3%増)、営業利益は2億円(前期比16.4%減)、経常利益は2億90百万円(前期比26.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は80百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失4億41百万円)を計画しています。

2021年10月以降、外食産業を取り巻く環境は回復傾向にあり、今後も期末(2022年5月)にかけてこのような状況が継続することを前提条件として業績予想を策定しています。

Q ▶ 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 企業価値のさらなる向上に
努めていきます

当第2四半期の配当金は、1株当たり**4.5円**といたしました。期末配当金は**4.5円**を予定しており、年間配当金は**9円**を予定しています。

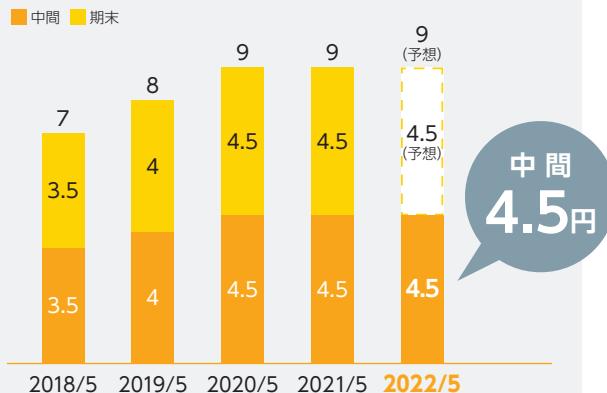
当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題のひとつと考え、今後の事業展開を勘案しつつ、安定的かつ継続的に配当を行うことを基本方針としています。

今後も株主の皆様のご期待にお応えするよう、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。株主の皆様には、一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第72期(2022年5月期)の連結業績予想

売上高	570億00百万円(前期比)	5.3%増
営業利益	2億00百万円(前期比)	16.4%減
経常利益	2億90百万円(前期比)	26.7%減
親会社株主に帰属する当期純利益	80百万円(前期比)	—

1株当たり配当金(円)



トピックス TOPICS

静岡市清水区にアミカ静岡清水店をオープン

2021年6月、静岡市清水区に静岡県内6店舗目となるアミカ静岡清水店をオープンしました。静岡市内の飲食店様や一般のお客様に満足いただけるよう地域に応じた品揃え、サービスを展開し、地域に密着した店舗運営を進めています。

店舗概要

店名

アミカ静岡清水店

住所

静岡県静岡市
清水区北脇199-1



アミカ店舗一覧

東京都	赤羽西口店、立川店
愛知県	小牧店、大曽根店、尾張旭店、大須店 一宮店、港当知店、岡崎店、堀田店 豊橋店、東海名和店、豊川店、緑浦里店 高針店、春日井店、豊明店、安城店 西尾店、中村井深店、守山大森店 半田店、豊橋佐藤店、豊田店
岐阜県	岐阜店、大垣店、長良店、各務原店 可児店、多治見店、大垣北店 中津川店、高山店、岐阜真砂店
三重県	四日市店、伊勢店
静岡県	浜松店、磐田店、掛川店、浜松上浅田店 静岡清閑店、静岡清水店
滋賀県	彦根店、瀬田店、長浜店、滋賀守山店
福井県	福井文京店
長野県	飯田店

営業時間 9:30~20:00
(一部店舗では営業時間が異なります)

アミカの公式SNSをぞくぞくスタート!

これまでに展開していたLINE公式アカウントに加え、アミカ公式Twitter、アミカ公式インスタグラム、アミカ公式YouTubeチャンネルを開設しました。新商品情報やお買い得情報、アミカ商品を使った調理方法など、お客様のお役に立てる情報を発信しています。皆様の「フォロー」や「いいね」をお待ちしております。



Twitter



Instagram



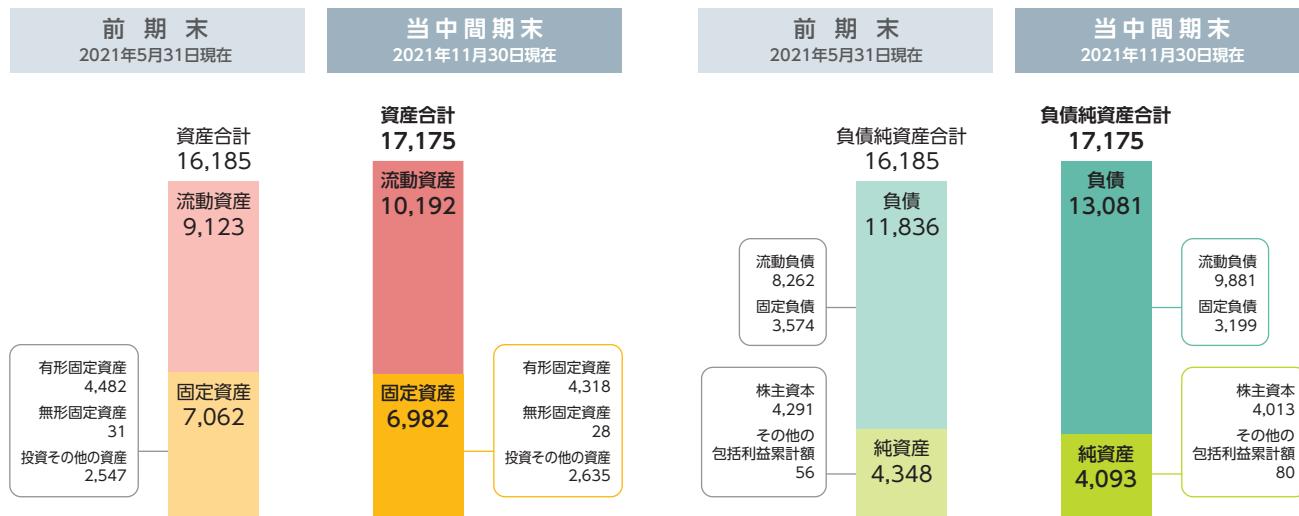
YouTube



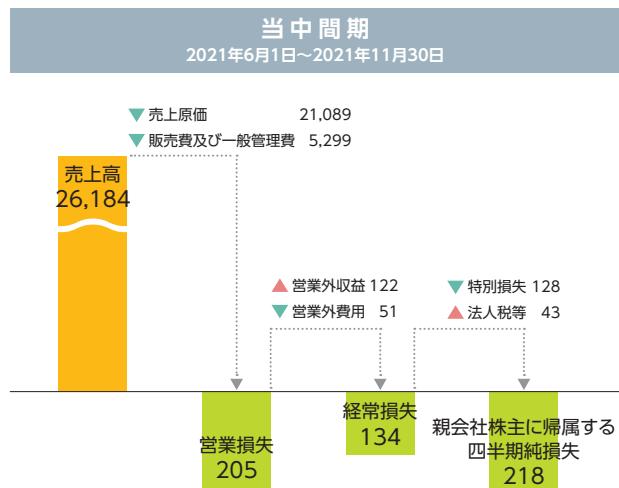
LINE



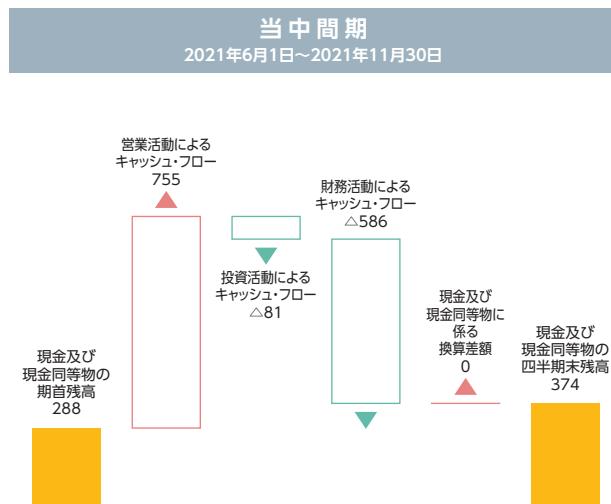
連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



会社情報 / 株式情報

会社概要 2021年11月30日現在

商号	株式会社大光
本社所在地	岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
創業	1948年6月
設立	1950年12月
資本金	10億7,637万円
事業内容	食品卸売業及び食品小売業
連結従業員数	1,048名(内パート・アルバイト487名)
子会社	株式会社マリンデリカ

役員 2021年11月30日現在

代表取締役社長	金森 武	取締役	藤澤 浩
専務取締役	倭 雅美	取締役	小林 秀幸
専務取締役	金森 久	社外取締役	吉田 真司*
常務取締役	秋山 大介	社外取締役	吉村 有人*
		社外取締役	前川 弘美*

※は、監査等委員

株式の状況 2021年11月30日現在

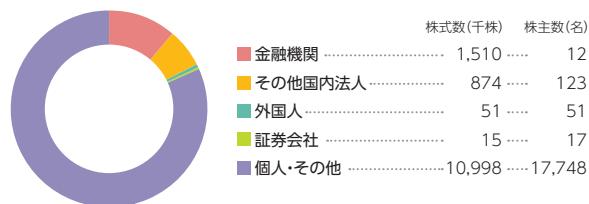
発行可能株式総数	30,720,000株
発行済株式の総数	13,450,800株(自己株式を含む)
株主数	17,951名(自己株式を含む)

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
金森 武	2,128,400	16.06
金森 久	1,168,000	8.81
大光従業員持株会	819,800	6.18
金森 智	720,000	5.43
株式会社大垣共立銀行	640,000	4.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	540,600	4.07
倭 雅美	272,000	2.05
株式会社トークン	240,000	1.81
大光取引先持株会	216,700	1.63
株式会社十六銀行	160,000	1.20

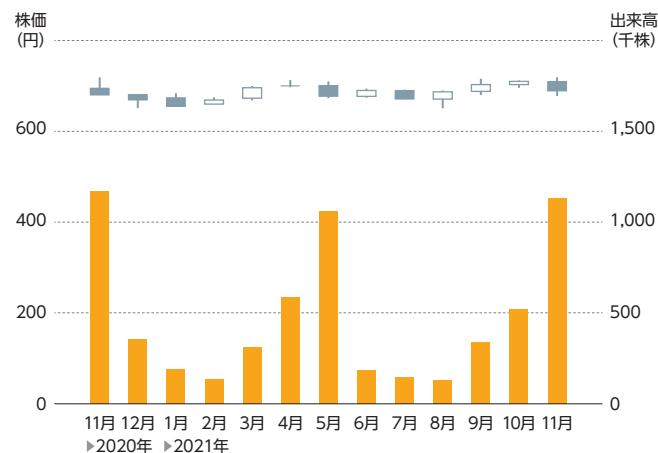
(注) 1. 当社は、自己株式200,012株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況

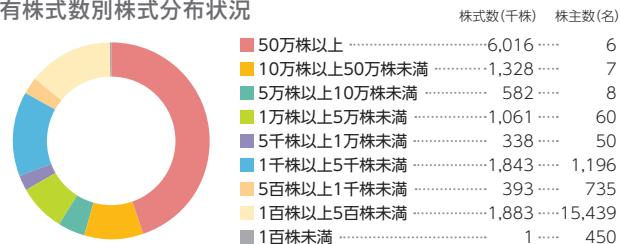


(注)自己株式は、個人・その他に含めております。

株価チャート



所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで

定時株主総会 毎年8月

基準日
定時株主総会の基準日 毎年5月31日
期末配当金の基準日 毎年5月31日
中間配当金の基準日 毎年11月30日

株主名簿管理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先)
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号0120-782-031(フリーダイヤル)

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

【未払配当金のお支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや店舗情報など、当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。



IR情報ページ

<http://www.oomitsu.com>

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ること、ならびに株主優待制度を通じた当社事業への理解促進を図ることを目的として株主優待制度を設けております。



当社から株主様へQUOカードをお送りします。当社からお送りするQUOカードを未使用の状態でご持参いただきました株主様には、QUOカードを倍額の「アミカ商品券」に交換させていただきます。

1 対象株主様 毎年5月末日現在及び11月末日現在の当社株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。(それぞれ8月下旬、翌年2月中に発送予定)

2 優待の内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	▶ QUOカード500円分 又はアミカ商品券1,000円分
500株以上1,000株未満	▶ QUOカード1,000円分 又はアミカ商品券2,000円分
1,000株以上2,000株未満	▶ QUOカード2,000円分 又はアミカ商品券4,000円分
2,000株以上	▶ QUOカード3,000円分 又はアミカ商品券6,000円分